令和7年6月 第22号発行

向日市立第４向陽小学校
★地域学校協働活動推進事業★
本部長　吉川　由紀子

4って子応援団

【活動報告】５年生の火起こし体験

6月7日（土）の参観授業で、5年生の児童を対象に、火起こし体験を実施しました。
これは、6/18～19の臨海学習で野外炊飯を行うため、火を起こす手順を事前に学習できるように企画したものです。火をつけるために何が必要で、どんな道具を使うのか、向日市のボーイスカウトの方々をお招きし、地域のボランティアの皆さんと一緒に学習しました。
児童の前でお手本を見せながら説明をしてくれたのは、ボーイスカウト向日第1団に所属する中学生でした。頼もしい先輩の姿から多くの学びがありました。
ボーイスカウトの皆様、地域の皆様、暑い中ご協力ありがとうございました。

学習その１　火をつけるために必要なものは？

今回の火起こしでは、熱はマッチ、燃えるものは新聞と薪を使って、空気（酸素）を上手に取り入れながら火をつけます。まずは薪を割って準備をします！

学習その２　ナタを使って薪わりをしよう！

＜薪の割り方＞
軍手をした手で薪を持って、ナタの刃を少し斜めにして薪の上に当てそのまま地面にトントンと叩きつけます。刃が薪に食い込んだら、ナタを両手に持ち替えて、地面に少し強くたたきつけるとパカっと薪が縦に割れます。

ナタは持ち手側を相手に向けて渡しましょう！

学習その３　上手に点火するためのポイントは？

新聞をふんわり丸めて、その上に細い木を置き、空気の通り道を作りながら薪を組んでいきます。
一番長く燃え続けるのは薪なので、新聞→細い木→薪の順に火がつくように考えましょう！

マッチのつけ方を知らない子がたくさんいました。
火は生活に必要不可欠ですが、今はその危険性に触れることがほとんどありません。少し危険ですが、火の扱いを学ぶことも大切です。
マッチに火がついたあとその火をどうするか…数秒間。焦って下に向けたら炎が指の近くに！「あ、あぶない！」「あ、あつい！！」
マッチを擦ったあとにどう持つか、とても大事なことを学びました。

学習その４　お米を洗って炊飯の準備をします

飯盒の中蓋で2合分のお米が計量できます。
計量したお米を飯盒に入れて、水を入れて優しくかき混ぜながら洗います。
お米を流さないよう水だけ捨てて、それを数回繰り返します。栄養分が流れてしまうので2～3回で十分です。

学習その５　薪に火をつけましょう！

各班に1人、火をつける人を決めます。マッチに火をつけたらマッチを横に向け、火をキープしながら丸めた新聞の中央あたりに置きます。燃料・空気・熱のバランスが調和して、薪に火がつけば火起こしは成功です！
どの班もみんな上手にできました。

ハイ！
上手にご飯が
炊けました♪

ボーイスカウトのみなさん。ありがとうございました！

～貴重な体験がたくさんできました～

このお便りのカラー版を４向ホームページにアップしています。ぜひご覧ください。